

詔書

ここに新年を迎う。顧みれば明治天皇は明治の初め、

国是として五箇条の御誓文を下し給へり、曰く、

一、広く会議を興し万機公論に決すべし

一、上下心を一にして盛に経綸を行うべし

一、官武一途庶民に至る迄 各其志を遂げ人心をして倦まざらしめんことを要す

一、旧来の陋習を破り天地の公道に基くべし

一、智識を世界に求め大に皇基を振起すべし

一、公明正大、又何をかかえん。

朕はここに誓を新にして国運を開かんと欲す。

須らく此の御趣旨に則り、

旧来の陋習を去り、民意を暢達し、官民拳げて平和主義に徹し、教養豊かに文化を築き、

以て民生の向上を図り、新日本を建設すべし。

大小都市の蒙りたる戦禍、罹災者の艱苦、

産業の停頓、食糧の不足、

失業者増加の趨勢等は真に心を痛ましむるものあり。

然りと雖も、我國民が現在の試煉に直面し、

且徹頭徹尾 文明を平和に求むるの決意固く、

克く其の結束を全うせば、独り我國のみならず全人類の為に、

輝かしき前途の展開せらるることを疑わず。

夫れ家を愛する心と國を愛する心とは

我國に於て特に熱烈なるを見る。

今や実に此の心を拡充し、人類愛の完成に向い、

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

同時に朕は我國民が時艱に蹶起し、当面の困苦克服の為に、

又産業及文運振興の為に勇往せんことを希念す。

斯の如きは実に我國民が人類の福祉と向上との為、

絶大なる貢献を為す所以なるを疑はざるなり。

一年の計は年頭に在り、

朕は朕の信頼する國民が朕と其の心を一にして、

自ら奮い自ら励まし、

以て此の大業を成就せんことを庶幾う。

御名 御璽(昭和天皇)

昭和二十一年一月一日

内閣總理大臣 兼第一復員大臣 第二復員大臣

幣原 喜重郎

岩田 宙造

松村 謙三

前田 多門

吉田 茂

堀切 善次郎

松本 烝治

芦田 均

次田 大三郎

大蔵大臣 子爵 渋沢 敬三

運輸大臣 田中 武雄

農林大臣 松村 謙三

司法大臣 岩田 宙造

文部大臣 前田 多門

外務大臣 吉田 茂

内務大臣 堀切 善次郎

國務大臣 松本 烝治

厚生大臣 芦田 均

國務大臣 次田 大三郎

大蔵大臣 子爵 渋沢 敬三

運輸大臣 田中 武雄

農工大臣 小笠原 三九郎

國務大臣 小林 一三

時艱 その時代の当面する難題

文運 学問、文化が盛んになり文明が進化してゆくなりゆき

能く我至高の伝統に恥じざる真価を發揮するに至らん。

寛容 相許すの氣風を作興するに於ては、

我國民が其の公民生活に於て團結し、相倚り相扶け、

又産業及文運振興の為に勇往せんことを希念す。

同時に朕は我國民が時艱に蹶起し、当面の困苦克服の為に、

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

同時に朕は我國民が時艱に蹶起し、当面の困苦克服の為に、

又産業及文運振興の為に勇往せんことを希念す。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。

朕の政府は國民の試煉と苦難とを緩和せんが為、

あらゆる施策と経営とに万全の方途を講ずべし。

献身的努力を効すべきの秋なり。

惟うに長きに亘れる戦争の敗北に終りたる結果、

我國民は動もすれば焦躁に流れ、

失意の淵に沈淪せんとするの傾きあり。

詭激の風 漸く長じて道義の念 頗る衰え、

為に思想混乱の兆あるは洵に深憂に堪えず。

然れども朕は爾等國民と共に在り、

常に利害を同じうし休戚を分たんと欲す。

朕と爾等國民との間の紐帯は、

終始相互の信頼と敬愛とに依りて結ばれ、

單なる神話と伝説とに依りて生ぜるものに非ず。

天皇を以て現御神とし、

且日本國民を以て他の民族に優越せる民族にして、

延て世界を支配すべき運命を有すとの

架空なる觀念に基くものにも非ず。